

# 自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

## 1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	社会福祉法人 慶生会				
事業所の名称 (施設名)	パフ				
事業所番号	4650001201				
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/>	児童発達支援	<input type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市中山2丁目13番13号				

## 2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 27 日
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択) ホームページ ↓ 2にURLを記載
	2. 内容 <a href="https://www.keiseikai-kagoshima.jp/outline">https://www.keiseikai-kagoshima.jp/outline</a>
	※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。

## 3 自己評価事務担当者情報

担当者名	松元 美紅
連絡先 (TEL)	099-263-3211

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	パフ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月14日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月11日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活体験などを通じた発達支援の提供	クッキング活動やお買い物体験、イベント等、社会性や人間関係の成長を支える活動内容を通して、お子様の経験がより豊かになる内容を提供し取り組んでいる。食育に関して野菜の苗植えを夏と冬に2回行うなど、食への興味を広げることができる活動を提供している。	季節を感じられる活動やお子様の成長を支える活動内容の充実を図っていく。また、お子様の興味関心のある活動やお子様の意見も活動に取り入れていく。
2	複合福祉施設として、乳幼児から高齢者が過ごされているため、交流をするイベントの実施ができる	法人内に多くの事業所があるため、お子様の特性にも配慮しながら発表会のお遊戯を披露したり、ハロウィンなど季節の行事と一緒に活動をしたりするなど交流の場を広げている。	事業所内の活動に加え、他の事業所との合同イベント等も増やし、一緒に遊ぶ楽しさや様々な人との関わりを広げていけるような機会を設定し、交流の場を広げていけるように努力していく。
3	専門講師(つみき教室・太陽スポーツ・ABA療育)やリハビリの専門職(PT,ST,OT)などによる療育やアドバイスにより、職員が知識を深めることができる。	専門講師や専門職による療育や支援に対するアドバイスをいただくことで、職員が知識を深めることができ、支援の質を上げることができる。	アドバイスをいただくだけでなく、実際に現場に活かしてけるよう職員間で情報を共有しながら支援を行っていく。また、課題への取り組み方を聞き、個別支援にも活かせるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のお子様や保育園・幼稚園、またご家族、きょうだい同士の交流の場が少ない。	法人内での交流はあるが、保育園や幼稚園に通っているお子様、地域のお子様と事業所として交流する機会の提供ができていない。地域開放のイベントの実施も行っているが、交流までは至っていない。	併用先の幼稚園・保育園など交流を図れるような合同イベント等先生方と連携を図りながら交流できるような場を作っていくよう努力していく。また、ご家族、きょうだい同士の交流を図れる場などのイベントを定期的に行えるよう実施に向けて検討していく。
2	専門職が中心となる活動を3ヶ月に1回ずつのペースで日程調整をしているが、個々のニーズに対する調整がうまくできていない。	言語聴覚士や作業療法士など保護者様のニーズが多くあるが、個々のニーズに対する調整ができていない。	引き続き活動プログラムに専門職の方が携わっていただけるよう年間での日程調整を行う。保護者様から再度ニーズを聞き取り、個別で専門職と日程調整をし定期的に支援を行っていく。
3	BCPやマニュアルなどの安全計画等についてご家族への周知が徹底されていない。	お子様の安全や非常時、災害時に必要なマニュアル、BCPなどを策定し、毎月避難訓練を行っているが、ご家族に対する説明、周知が足りていない。	マニュアル、BCPなどご家族への周知方法の見直しを行っていく(さくら連絡網による周知等)。また、災害時に向けてのお子様の引き渡しなどご家族にも協力していただきながら訓練を行っていくよう検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	パフ
------	----

公表日 令和8年2月27日

利用児童数 10名

回収数 3名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2			1		十分なスペースを確保し運用するとともに、お子様の情緒面に配慮し、机を配置する等配慮を適宜行っております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2			1		配置基準を満たしております。また、必要に応じて職員の調整を行っております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	1		1		バリアフリー基準を満たした設備となっております。お子様には、写真やイラストを使って構造化された環境となるよう心掛けております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2			1		毎日、清掃と消毒をおこなっております。活動内容に合わせて、活動のスペースを工夫しております。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					お子様の特性を理解し、一人ひとりにあった支援を行っております。また、職員間で共有を行い、統一した支援を行っております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					職員間で話し合いの元、支援プログラムを作成し、内容に沿って支援を提供しております。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					保護者様のニーズ、お子様の成長発達に沿って、職員間で話し合いの元、作成しております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					お子様に合わせた支援内容の目標を立てております。また、成長に合わせて、保護者様と情報共有後、関係機関との連携を図っております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					今後も、一人ひとりのお子様に合わせて支援を行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3					5領域の内容に基づき、活動の計画をしております。お子様の興味関心のあるものや季節に合わせた活動を取り入れるように職員間で協議をしながら計画を立てております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2			1		併用先との交流活動の実施はありません。今後はイベント等交流を図れる場を検討してまいります。
保護者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					契約時に説明をさせていただいております。何かご質問等ございましたらお申し出ください。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					年に2回前後時に支援内容に基づく説明をさせていただいております。保護者様のニーズ、お子様の成長に沿った支援内容となるよう、今後も支援計画作成と支援を行ってまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3					家族会やABA説明会などのお知らせを行っております。今年度はペアレントトレーニングを行いました。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3					活動の様子、健康面や発達の状況を随時保護者の方と情報共有ができるように心がけてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1				必要に応じて相談を行っております。適切な助言を行う事ができるよう努めて参ります。気になることがございましたら、今後もいつでもお申し出ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					本人、ご家族のニーズをしっかりと聞き取り、共感的に支援を行ってまいります。

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2			1	毎月の親子療育、定期的を実施している家族会や様々な講演会等で保護者様同士の交流を行っております。今後もイベント等の開催を行い、交流の場を提供していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3				今後も随時相談を受け付け、適切に対応、助言をすることができるようになって参ります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	2	1			お子様や保護者様との情報伝達等の配慮が足りないところがあり申し訳ございません。今後はお子様、保護者様との情報共有がしやすい仕組みを作ってまいります。何かお気づきの点がございましたら、お申し出ください。
	21	定期的に通債やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3				毎月書面にて行事予定表を配布させていただいております。加えて限定公開のInstagramにて活動の様子を発信しております。また、自己評価や保護者様による評価を年1回行い、結果はホームページにて公表しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	3				個人情報に関しては書面にて確認して保管しており、写真に関しても保護者様の同意を得て掲載しております。今後も取り扱いには十分に注意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2			1	館内のマニュアルを作成しており、マニュアルを元に、毎月訓練を行っております。発信が空らない部分もありますので、今後は必要に応じて説明させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3				毎月1回、地震・火災・不審者対策等の避難訓練を実施しております。訓練日は月間行事予定表にてお知らせしております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	2			1	安全計画に沿って職員会議にて研修を行っております。今後も安全確保に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	3				事故・怪我等が発生した際は、直ちに緊急連絡先に連絡をさせていただいて状況説明を行い、必要であれば病院受診を行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3				朝幼稚園に行くのを嫌がって泣き、暴れて先生に抱っこされて行くことがたまにあるのですが、バスでは泣いていても寝れていやがることがない。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3				幼稚園は嫌だけどバスなら行くと言うことがある。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3				通所を楽しみにしていただきありがとうございます。今後もお子様が楽しみながら成長できるよう活動内容の工夫や職員間の連携を図ってまいります。また、安心して通所して行けるような環境づくりを心がけてまいります。
						保護者様のご協力の元、お子様の成長を支えさせていただいております。今後も保護者様とお子様の気持ちに寄り添い、成長を支えていけるよう職員一同努力してまいります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	パフ		公表日		令和8年2月27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			基準を満たしたスペースとなっております。お子様の特性により、机の配置等を変え、お子様の情緒面の配慮を行っております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置数は適切であるか。	○			配置基準を満たした職員配置数となっております。お子様の特性に合わせて職員の対応を行えるよう職員のスキル向上も行っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お集まりなど絵カードを使用し、活動、場所を視覚的に提示し、分かりやすく支援を行っています。	お子様にとって分かりやすく構造化された環境となっております。活動内容によっては遊戯室を使用するなどより良い環境づくりに努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		季節に合わせた壁面を飾っています。	療育室、トイレ、倉庫等の管理責任者を置き、衛生管理を行っております。また、壁面を飾り、季節感を味わえるように工夫しております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			必要に応じて個別の療育室を使用し、落ち着いて過ごすことができるような環境づくりに努めております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			毎月1回職員会議時に業務改善事項があれば協議し、その他随時改善事項があれば朝礼等で発信し改善に努めております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			毎年1回保護者様向け評価、事業所評価を実施し、保護者様からいただいたご意見をHPにて公表しております。また、事業所間で共有し業務改善に活かしております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			朝礼と終礼を行い、職員間で情報共有を行っており、意見を踏まえて業務改善に努めております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今年度は実施しておりません。今後は実施を検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			毎月1回療育研究会を実施しております。その他内部研修・外部研修を受けながら職員のスキルアップに努めております。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			支援プログラムを作成し、ホームページにて公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			保護者様から聞き取り後、事業所内でアセスメントを行い、保護者様のニーズやお子様の目標に沿った支援計画を作成しております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			児童発達支援管理責任者を中心に事業所の全職員でアセスメント(検討会議)を実施した上で、児童発達支援計画を作成しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			お子様の状況について職員間で共有し、支援計画に沿った支援ができるように努めております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			法人内で統一されたアセスメントツールを活用しており、職員間でも情報共有を行っております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			児童発達支援ガイドラインに基づき支援内容を設定しております。

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		お子様の興味のある活動等、職員間で意見を出し合い、計画を立てています。	活動内容については、職員間で協議するとともに、お子様の支援に基づく内容で構築できるよう計画を立てております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節を感じられる活動や毎月活動が同じにならないように工夫しています。	5領域に沿って季節に合わせた活動や生活体験を実施できるよう職員間で協議し、計画を立てております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			常に職員間で協議しながら、お子様の状況にあった支援を提供しております。集団活動の中でも個別対応が必要である場面もある為、臨機応変に対応し、児童発達支援計画にも反映できるよう努めております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			朝礼時に活動内容や支援内容、役割分担について職員間で共有しております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			支援終了後に、職員間でお子様の様子等気付いた点の共有を行い、次回の支援に繋げております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			お子様の状況については保護者様との共有する連絡帳に記載しております。業務に関しては毎日の業務日誌で振り返ることができるようにしております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			年2回実施し、更新時期でなくても必要に応じて随時見直しを行っております。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			児童発達支援管理責任者を始め、保育士、児童支援員が会議に参加しております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			必要に応じて地域機関との連携、また併用先の幼稚園や保育園、就学先の小学校とも連携を図り、情報共有を行っております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			年に2回、幼稚園、保育園との連絡会を実施しております。その中で情報共有とお子様にあった統一した支援について相互理解を図っております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			就学児を対象に小学校連絡会を実施し、就学先への情報提供と相互理解を図ることができるよう努めております。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			児童発達支援センターの主催する連絡会に参加したり、法人内の児童発達支援センターと日頃から情報交換を行い、支援方法や事業所運営について助言をいただいております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域のお子様と接する機会は少ないですが、併用先での交流は見られています。法人として地域開放のイベントを開催しています。	交流活動の実施には至っておりませんが、併用先の保育園・幼稚園等での交流は見られています。今後は検討を行ってまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			お迎え時の申し送りの際や連絡帳、必要に応じて電話連絡や面談を実施し、お子様の状況や課題について共通理解を持っております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			今年度はペアレントトレーニングを実施いたしました。必要に応じて、保護者様からの相談には面談を実施しております。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			新規契約時に説明を行っております。変更点があった際には、文書にてお知らせを行い、必要に応じて説明を行っております。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			保護者様と面談を実施し、聞き取り、確認を行い、ご家族のご意向に沿った支援計画書の作成を行っております。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		年に2回、保護者様との面談を実施し、その中で保護者様に内容のご確認をいただき、同意を得ております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援計画作成以外にも、お子様の状況に合わせて保護者様と情報共有を行うと共に、必要に応じて面談を実施し、保護者様の相談に適切に応じられるようにしております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等しているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	家族会や親子療育など保護者様同士で交流する機会を設けております。	年2回、家族会を実施しており、その中で、保護者様との話し合いの場を設けております。今後も多くの方にご参加していただけるようなイベント等を検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者様の心身の状況やお子様の情緒面に配慮し、通園回数等、相談に応じながら適切に対応を行っております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月活動予定表を配布しております。保護者様のみの閲覧できる限定公開のInstagramにて活動の様子を発信しております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約書にも記載させていただいておりますが、個人情報の取り扱いは十分の配慮し、鍵付きの棚へ保管しております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	お子様の特性に合った絵カードを準備し、意思疎通を図りやすいようにしている。	お子様には絵カード等、視覚的支援を行い意思疎通の配慮を行っております。保護者様への伝達は連絡帳を用い、意思の疎通を行っております。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	夏祭り、フリーマーケットなどを法人として行っている。	法人内でフリーマーケットなどを実施し、地域住民の方々にご参加いただいております。事業所としての取り組みは現在行っておりません。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは整備できておりますが、保護者様に周知していただく機会が少ない為、今後発信方法等検討してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		それぞれのマニュアルを作成しており、様々な天災を想定した避難訓練を毎月実施しております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		新規契約時やアセスメント表での聞き取りを年に1回行っております。変更があれば随時申し出ていただいております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		新規契約時、アセスメント表での聞き取りを行っております。アレルギーのあるお子様に対しては医師の指示書を提出していただき、法人内の栄養士と連携を図って個別対応を行っております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、定期的に職員会議の中での研修や訓練を行っております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		アセスメント表でご家族とも確認を行い、緊急連絡先の記入をお願いしております。BCP等はご家族へ向けて掲示しておりますが、取組内容の周知は足りない部分がある為、今後検討してまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例を職員間で共有し書類を作成しております。また、法人内でも共有を行っております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月虐待防止、身体拘束適正化委員会を実施しております。また、法人内の全体研修会でも研修を行っております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		新規契約時には十分に説明を行っております。必要なお子様に関しては、お子様、保護者様に同意書にご署名いただき、児童発達支援計画書に記載する流れとなっております。